

輝 SONODA SPORTS PRESS

経験値教育。

園田学園女子大学

園田学園女子大学短期大学部
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

【学部・学科】
●人間健康学部 / 総合健康学科 ●人間教育学部 / 児童教育学科
●人間看護学部 / 人間看護学科 ●短期大学部 / 生活文化学科
●食物栄養学科 / 食物栄養学科 ●幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター

TEL 06-6429-9137

FAX 06-6429-9116

URL <http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/index.html>



2011年より全日本大学選手権（インカレ）を2連覇しているソフトボール部。3連覇を目標に部員は練習を重ねてきた。

惜しくも準優勝

全日本大学選手権

ソフトボール部

準優勝

関西学生リーグは



エース・泉 礼花

主要大会成績

- ◆西日本大学選手権
 - 〈準決勝〉園田4-1 中京大
 - 〈決勝〉園田3-1 立命館大
 - 泉一清原
 - ★最優秀選手賞=泉
- ◆全日本大学選手権
 - 〈準決勝〉園田7-1 大阪国際大
 - 泉・池田・貫一清原、(本)古澤
 - 〈決勝〉園田1-2 中京大
 - (8回タイブレーク)
 - 泉一清原
- ◆関西学生秋季リーグ
 - 〈1次予選リーグ〉
 - 8-0 龍谷大
 - 0-1 立命館大
 - 7-0 大阪国際大
 - 7-0 太成学院大
 - 〈2次リーグ〉
 - 8-0 大阪大谷大
 - 6-1 天理大
 - 3-0 武庫川女子大
 - 7-0 神戸親和女子大
 - ★打撃賞=清原 (打率0.533)
 - ★投手賞=泉 (防御率0.00)
 - ★本塁打賞=清原(2本)他1人
 - ★盗塁賞=本岡(3個)他2人

インカレの出場権を獲得するための春のリーグ戦は優勝を収め、夏に向けて好スタートを切った。8月に鹿児島県で開催された西日本大学選手権では猛暑の中、2年連続14度目の優勝に輝き、インカレ3連覇への弾みをつけた。

心とした堅い守りで得点を許さず、最終回の中川なおみ(同3年)のダメ押しホームランで試合を決めた。3回戦は泉・池田美樹(児童教育学科3年)・市谷愛美(総合健康学科1年)の継投と打線がかみ合い快勝。準決勝の大阪国際大戦では、貫彩紗(同4年)の打者を寄せ付けぬ投球が光った。

インカレでの惜敗を振り払うように迎えた全日本総合選手権大会はベスト8と健闘。秋のリーグ戦は投打がかみ合って、7季連続で頂点に立った。

リーグ戦は投打で圧倒

泉一清原のバッテリーを中心に団結した今年のチーム。「主試合全力投球でき、チームの絆の強さを感じることができました」と泉。目標であった3連覇は逃したが、準優勝の結果を残した選手に賛辞を送りたい。



バレエ

秋季リーグ2部V

関西1部昇格決定

春季リーグは3位に終わったが、秋季は4季ぶりの2部優勝&1部復帰を果たした。春秋連続でセッター賞に輝いた小林弥生(食物栄養学科1年)を司令塔に、秋季最優秀選手賞の秋元麻希(総合健康学科2年)の速い攻撃とコンビバレーがタイトルを呼び込んだ。

2戦目の対関西大の惜敗がチームを一つにし、1次リーグ2位(6勝1敗)で2次リーグに突入。京産大戦・武庫川女大戦を連勝し、優勝と昇格が決定した。最終戦は1次リーグで敗戦した関西大と再戦。有終を飾るべく集中力を高めた。第1セットを落としたが、粘りのプレーを展開。最後は主将・坂元玲(総合健康学科4年)のサービスエースで勝利を収めた。来季は1部での戦い。新チームは新たな気持ちでスタートを切った。



関西学生個人タイトル連取の加治 遥

関西学生単は春夏連覇

関西学生春季トーナメント・シングルス制した加治は9月の関西学生選手権も順当に勝ち上がり、決勝はストリートで快勝した。池田紗也(同)と組んだダブルスは準優勝。その勢いで全日本選手権につながる



西日本大会で初優勝。国内最高峰トーナメント出場という大きな経験を積んだ。12月の全日本学

主要大会成績

- ◆関西学生選手権
 - 〈シングルス決勝〉
 - 加治遥 ○(6-1) ●北山
 - 加治遥 ○(6-1) (甲南大)
 - 〈ダブルス決勝〉
 - 加治遥 ●(4-6) ○村上・田中
 - 池田紗也(2-6) (関西学院大)
- ◆関西大学対抗リーグ
 - 園田 ○4-1 神戸松蔭女大
 - 4-1 同志社大
 - 2-3 関西大
 - 3-2 神戸親和女大
 - 1-4 関西学院大
- ◆全日本学生室内選手権
 - 3勝2敗 3位
 - 〈シングルス〉
 - 1回戦 ○(6-2) ●久次米
 - 加治 ○(6-3) (山梨学院大)
 - 2回戦 ○(6-4) ●高松
 - 加治 ○(6-2) (中京大)
 - 準決勝 ○(6-4) ○山本
 - 加治 ○(4-6) (関西学院大)
 - 〈ダブルス〉
 - 1回戦 ○(2-6) ○間中・吉富
 - 加治 ○(7-5) (早稲田大)
 - 池田紗 ○(0-6)

主要大会成績

- ◆関西大学女子秋季リーグ
 - 園田 ○3-0 姫路獨協大
 - 2-3 関西大
 - 3-0 大阪大谷大
 - 3-1 帝塚山大
 - 3-1 天理大
 - 3-0 京都産業大
 - 3-2 武庫川女大
 - 3-2 武庫川女大
 - 3-1 関西大
- ◆関西大学選手権
 - 9勝1敗 2部優勝・1部昇格
 - 決勝 トーナメント1回戦
 - 園田 ○2-0 大阪体育大
 - 同2回戦(ベスト8)
 - 同2回戦(ベスト8)
 - 同2回戦(ベスト8)
 - ◆全日本大学選手権
 - 1回戦 ○園田 ○3-0 都留文科大学
 - 2回戦 ○園田 ○1-3 広島大

関西女子学生2部全勝V

関西女子学生バスケットボール2部の園田学園女子大は、1次・2次リーグとも全勝で2部の頂点に立った。1部昇格への夢はあと一歩で達成できなかったが、そのポテンシャルを感じさせたリーグ戦の戦いだ。



平成25年度関西女子学生バスケットボール2部・1次リーグは8月31日に開幕。園田学園女子大は1次Aブロック全勝1位で2次リーグに進んだ。2次

リーグも快勝を重ね、最終戦は神戸親和女子大との全勝対決。55-52で接戦を制し、2部全勝優勝に輝いた。

1部昇格をかけた1部2次リーグへの参戦。1部チームの壁は高く、黒星が先行した。1部昇格への最後のチャンスをつかえた関西外国語大との一戦。第1ピリオド、中辻ひとみ(総合健康学科3年)のドライブから濱野真祐良(同3年)の3Pで先制点を挙げた。

第2ピリオドも塚本愛佳(同4年)の3Pで勢いに乗ったが、相手も好チーム。第3ピリオド以降、一進一退の攻防が続いた。そして32-30の2点リードで迎えた最終ピリオド。点の取り合いになり、残り3秒、中辻が3Pを沈めて54-53とした。勝利は目前。しかしあきらめない相手にブザービートを決められ、1点差で涙をのんだ。

最終戦は勝利したが、1部昇格の夢は持ち越された。あと一歩だったからこそ、次年度の1部昇格を強く誓っている。



主要大会成績

関西女子学生リーグ

- 園田 91-53 龍谷大
- 76-35 びわろ大
- 80-54 京都学園大
- 79-51 大阪教育大
- 106-38 大阪国際大

- 園田 87-72 同志社女大
- 74-62 びわろ大
- 80-54 京都学園大
- 77-59 大阪大谷大
- 55-52 神戸親和女大
- 10勝0敗 2部優勝

- 園田 51-87 武庫川女大
- 64-96 関西学院大
- 52-73 天理大
- 54-55 関西外大
- 73-52 神戸親和女大
- 1勝4敗 2部残留

日本学生陸上入賞5

陸上競技

久貝、宇都宮の実力開花

短距離の久貝瞳(総合健康学科2年)の成長が著しい。西日本学生で100m 2位(11秒82)&200m 優勝(24秒26)。日本学生対校では両種目で4位に入



賞し、学生女子スプリンターの中で注目の存在となった。大阪薫英女学院高校出身で、園田で大きく飛躍。新シーズンも記録と成績の両面で期待できる。日本学生対校では宇都宮絵莉(児童教育学科2年)が七種競技で3位に入賞し、園田勢最上位の成績を収めた。砲丸投の福富茉莉奈(総合健康学科3年)は5位。優勝を争う実力を果たすだけに、最終学年では大舞台で力を出し切る精神力強化が求められる。



久貝 瞳(左)

来季を占う関西学生新人では、三段跳Vの田澤麗奈(児童教育学科1年)ら延べ11人が6位以内に個人入賞した。関西学生種目別選手権でも福富、久貝のほか森本新菜(総合健康学科2年)が800mで優勝を果たすなど活躍。新チームも快走・快跳・快投を見せてくれそうだ。

主要大会成績

日本学生個人選手権

- 砲丸投 福富 14m 82
- 西日本学生対校選手権
- 100m 久貝 11秒82
- 200m 久貝 24秒26
- 日本学生対校選手権
- 100m 久貝 11秒88
- 200m 久貝 24秒51
- 砲丸投 福富 14m 09
- 原田 13m 84
- 七種競技 宇都宮 51.40
- 点 兵庫学生新

関西学生新人選手権

- 400m 伊藤 57秒33
- メドラーノ・ミツエ 57秒54
- 800m 森本 2分18秒79
- 走高跳 町田 瑞季 1m 63
- 三段跳 田澤 12m 11
- 砲丸投 福田 12m 34

関西学生優勝大会8強

剣道部

9月に関西女子学生優勝大会に臨んだ剣道部。2戦快勝を収めて2年連続の8強進出を果たし、8年ぶりの4強進出が視野に入った。準々決勝は甲南大戦。前年準々決勝で当たり、代表戦の末に4強進出を阻まれている。悔しさを知るメンバーは再戦のチャンスに燃えたが、健闘実らず敗退。今回も甲南大が行く手に立ちただかった。



来季は兵庫県新人大会個人優勝の堤鈴花(総合健康学科2年)、同3位の河野明日美(児童教育学科2年)が中心となり、壁の突破を目指す。河野は兵庫代

主要大会成績

関西女子学生優勝大会

- 2回戦 園田 〇-〇 天理大
- 3回戦 園田 〇-〇 神戸学院大
- 準々決勝 園田 〇-〇 甲南大
- 兵庫県新人大会
- 個人優勝 堤鈴花
- 個人3位 河野明日美
- 全日本女子学生優勝大会
- 1回戦 園田 〇-3 4 関東学院大

関西学生2部総合2位

ラクロス部



への挑戦。2部B1位の龍谷大に11-12で惜敗。1部7位の大阪国際大戦は攻撃を封じられ、2-11と完敗した。1部昇格を逃したが、来季への期待が膨らむ健闘だった。

大会成績

関西学生リーグ(2部A)

- 園田 16-4 甲南女大
- 15-5 大阪経済大
- 13-7 神戸学院大
- 10-11 大阪市立大
- 12-10 甲南大
- 13-8 大阪体育大
- 15-8 大阪大谷大
- 入れ替え戦
- 園田 11-12 龍谷大
- 2-11 大阪国際大



チアリーディング部「全日本学生選手権出場」

「WHITE TIGERS」はアメリカンフットボールや大阪マラソンの応援演技、地域の各種イベント出演など、笑顔と元気あふれるパフォーマンスを多方面で披露した。12月の全日本学生選手権には、桃山学院大との合同チームで競技部門に出場。決勝ステージには進めなかったが、はつらつと演技をやりきった。

Special Message

園田アスリートの旅立ちの春

石田 絵里さん
バスケットボール部
児童教育学科
武庫荘総合高校出身
大阪府 / 小学校 内定

「私は集中しただけなら止まらないタイプ。部活動と教員採用試験の勉強との両立は大変でしたが、公立小学校採用が決まりました。仲間や支えてくれた皆さんへの感謝の気持ちは忘れません。先輩たちもいるなことを経験して大学生活を充実させてほしいと思います」

大家 実可子さん
剣道部
食物栄養学科
雲雀丘学園高校出身
大阪府警察 内定

「必修科目がたくさんある学科なので、時間を工夫して剣道と両立して、自分の意思で選択・行動する結果には責任が付いてくることを学びました。目標に向かう過程でいい仲間に出会い、楽しいこともたくさんありました。4年間を共に過ごした仲間が宝物です」

知念 千香さん
ソフトボール部
総合健康学科
厚木商業高校出身
和歌山県 / 中学校 保健体育 内定

「学業と部活にメリハリを付けて両立してきました。人と人のつながりや周囲の支えをいつも感じる事ができた大学生活でした。大学では自ら学ぶことを求められます。先輩たちも学べることに感謝しながら、夢に向かって頑張ってください」